

第2-2表 位置及び地勢

位 置	最 東 端 ……東経 137° 05′ 24″ 北緯 35° 27′ 51″ (下米田町信友) 最 南 端 ……東経 137° 00′ 35″ 北緯 35° 25′ 36″ (深田町2丁目) 最 西 端 ……東経 136° 57′ 44″ 北緯 35° 26′ 40″ (加茂野町稲辺) 最 北 端 ……東経 137° 02′ 27″ 北緯 35° 33′ 02″ (三和町廿屋)
広 ぼ う	東 西 …… 11,634m 南 北… 13,751m
海 抜	最 高 地 …… 559.2m(御殿山山頂) 最 低 地……59.1m(草笛町4丁目)
一級河川	1 木曾川 2 飛騨川 3 深渡川 4 加茂川 5 蜂屋川 6 川浦川 7 廿屋川 8 大洞川 9 太市川 10 納古川
代表的山岳	1 御殿山 2 平木山 3 山之上富士(富士山) 4 高木山 5 鬼飛山 6 白山
代表的湖沼	1 蜂屋調整池 2 東山大白池 3 別所新池 4 杵ヶ洞池 5 第1三ツ池 6 第2三ツ池 7 天乳池 8 高割池 9 大原池 10 大池 11 新池 12 作り洞池 13 桐ヶ洞池 14 太郎洞池 15 御手洗池 16 加賀池 17 第1大池
地区別面積 (km ²)	市 全 体 74.81 太 田地区 …… 4.97 古 井地区… 6.65 山之上地区 …… 11.23 蜂 屋地区… 12.33 加茂野地区 …… 7.20 伊 深地区… 7.99 三 和地区 …… 15.40 下米田地区… 9.04
植物生態	宿場町として栄えてきたため、植物の生態にも人為的な変化が求められ、低地や丘陵地では、田畑や果樹園になっている。森林についても、三和地区を中心にかつてはシイの常緑樹林であったが、今ではほとんど一次的自然林はなく二次的な常緑広葉樹林である。
土 壌	北部地域(伊深、三和地区) : 母岩が中古生層のチャート砂岩・粘板岩が風化した褐色森林土壌 中部地域(蜂屋、山之上北部地区) : 母岩が中新統の凝灰角礫岩が風化した残石土 南部地域(上記以外の地区) : 河岸段丘及び沖積層で土壌は永積層の黒ボク及び灰色低地土グライ層を含む

1) 海拔の最高地点は、行政界未確定である。

2) 代表的な湖沼は、満水面積7,000m²以上の湖沼を抽出した。

3) 位置、広ぼう、海拔及び代表的山岳は国土地理院発行地図により、一級河川は河川台帳により、代表的湖沼は溜池台帳により、地区別面積は固定資産税概要調書により、植物生態及び土壌は美濃加茂市史(通史編)による。